

# 国語

<解答と解説>

解答	配点
問一 (ア) 1 きんりん 2 こくもつ 3 しゅうにん 4 わた (イ) a 4 b 1 c 3 d 4 (ウ) 6 (エ) 3	問一 各 2 点 × 10 = 20 点
問二 (ア) 4 (イ) 1 (ウ) 1 (エ) 4 (オ) 3 (カ) 3 (キ) 2 (ク) 3	問二 各 4 点 × 8 = 32 点
問三 (ア) 2 (イ) 1 (ウ) 4 (エ) 2 (オ) 3 (カ) I 個人主義 II 問題点 (完答) (キ) 2 (ク) 4	問三 (カ) 8 点 (完答) その他各 4 点 × 7 = 28 点 計 36 点
問四 (ア) 2 (イ) (例) 他の活動等で時間がなかったから、本を読む時間がとれなくなった (30 文字)	問四 (ア) 4 点 (イ) 8 点 計 12 点 合計 100 点

## 問一 漢字の読み、熟語、文法、俳句の鑑賞文

- (ア) 1 の「近隣」は「きんりん」と読み、「近所、となり、近辺」という意味です。  
 2 の「穀物」は「こくもつ」と読み、「人間がその種子を食物とするもの」という意味です。  
 3 の「就任」は「しゅうにん」と読み、「任務や役職に就くこと」という意味です。  
 4 の「渡」の音読みは「ト」です。「譲渡」などの熟語があります。
- (イ) a ~ d、および 1 ~ 4 の各文中の——線を含めたカタカナを漢字で書くと、以下のとおりになります。
- a : 将来 1: 壇子 2: 招待 3: 合唱 4: 将軍  
 b : 通貨 1: 貨物 2: 河口 3: 認可 4: 初夏  
 c : 周到 1: 収納 2: 宗教 3: 外周 4: 九州  
 d : 混 (ぜる) 1: 亂戦 2: 遊覧 3: 球根 4: 混雜
- (ウ) 修飾語がどの被修飾語（修飾される語）を修飾しているのかを確かめる方法として、修飾語をそのあとに続くそれぞの文節につなげてみます。そこで、自然につながる最後の文節が被修飾語となります。すると、「今でも」をつなげた「今でも 思い出すよ」が自然につながる最後の文節なので、6 が正解となります。
- (エ) 桐の葉が落ちるという一瞬の光景を、「日当たりながら」という表現があることでゆっくりと落ちているような錯覚を感じさせる俳句です。したがって、3 が正解となります。4 は、作者が感じている季節は冬ではなく秋であるため誤りです。

## 問二 文学的文章の読解

- (ア) ——線 1 直後の文で、「借金を返さなきや、私たちの店は潰れてしまうわ」とあります。コウがレイモンを説得しようとしているのは、借金を返済するためということが読み取れます。なぜレイモンを説得しなければならないかは、レイモンは「軍には売りたくない。僕が戦争を毛嫌いしているのを、知っているだろう」と発言しており、軍人を相手に商売をすることを快く思っていないためです。コウは、そんなレイモンを説得し、軍相手の商売をしなければならないと考えているため、何としてもレイモンを説得しなければならないと考えています。したがって、4 が正解です。
- (イ) ——線 2 直後の、「会わせたら断るに決まっている」から考えます。コウは、借金を返済できるほどの利益の見込める商談を破談させたくないという思いを持っており、軍人が商売相手でも問題ないと考えています。しかし、夫のレイモンは軍人や戦争が嫌いなので、軍人との商売をしたくないと考えています。なので、艦長のレイモンに会いたいという申し出を受けてしまったら、レイモンに断られてしまうと考えています。「進退きわまる」という言葉は“どうにもならない苦境におちいる”と言う意味からも、1 が正解です。
- (ウ) レイモンは軍人が嫌いなので、軍人との商取引をしたくないと考えています。軍人たちに物を売りたくないという信条を示しつつ、「不機嫌そうに」相手に吐き捨てるように読むのが適当と考えます。したがって、1 が正解です。
- (エ) ——線 4 の前後に着目します。購入担当の軍人が、工房を見せてほしいと言っています。レイモンはただでさえ軍人が嫌いな上に、工房を妻のコウにさえ見せるのも好まない人物と描写されています。コウが観念したのは、レイモンに話しているのが軍人であり、さらに工房を見せてほしいというレイモンの嫌いなことを申し出しているので、

レイモンが怒り出し、商談が破談となってしまうことです。したがって、4が正解です。

- (オ) なぜレイモンが今日に限って軍人を工房に案内するような行動を取ったのかは、4ページのコウとの会話の中で書かれています。レイモンは艦長の「水夫たちにも食べさせたい」という言葉を気に入り、また、妻の望みである商談を成功に持っていくことを考えて取った行動だということがわかります。したがって、3が正解です。4は「レイモン」は販売する相手が同郷の人間だからといって、その人のためになるならばと考えて販売したくなつたわけではありません。また、1は「『コウ』の願いを叶えたい」という要素がないことからも誤りです。
- (カ) コウは、商談を成功させたいと思っていますが、軍人を嫌う夫レイモンの行動が気がかりでした。レイモンが軍人を嫌うあまり、商談を破談にさせるのではないかと恐れていたのです。しかし、レイモンは自分の信念を曲げてまで商談を成功に導いてくれたのであり、コウはその夫の行動に感謝していることがわかります。したがって、3が正解です。
- (キ) ～～線aでは「夢のような話」として、しまう場所にも困るほど多く残っている在庫を全部引き取る話をうますぎる話だと信じられずにいます。そして、～～線bでは、小切手に書かれた金額を見て、借金を返せるだけでなく、余りがあるということに喜びを感じています。しかし、その話にも「夢を見ているよう」だとして、本当に現実のことなのかどうかにわかに信じられずにいます。したがって、正解は2です。
- (ク) 本文の内容との正誤を問う問題です。このような問題では、選択肢だけを検討するのではなく、本文と選択肢を比較して正誤を判断するようにしましょう。1は「比喩を多用して」、2は「夫妻が共有する思い出を交えながら」、4は「『軍人』の視点から」がそれぞれ誤っています。なお、3は本文全体の流れと合っており、正解としてふさわしいと言えます。この文章では、会話は「」だけで表現されているではありません。――で挿まれた部分はドイツ語での会話を表現しています。したがって、会話表現が多いことが読み取れます。

### 問三 説明的文章の読解

- (ア) [A]の直前に、「歴史は、基本的にローカルなものとして蓄積されている」ことについて触れられています。[A]の直後ではフランスや日本の考え方をつくりだしてきた歴史があると具体例を挙げています。したがって例示を表す「たとえば」が入ります。次に[B]ですが、直前に「人間や自然と等身大の歴史は、複雑に多様で、多層的につくられているのではないかと私は思う。」とあり、[B]の直後に「私たちが学んだ歴史は、そのような多様性をもっていなかつた。」とあることから直前の筆者の主張と事実が対立している関係が読み取れます。したがって、「ところが」が当てはまりますので2が正解です。
- (イ) 自然の異変があったとき、人間が自然や自然の神々を怒らせたからだと感じて人間の社会のあり方を反省するという日本人の精神の習慣は、フランス人にとっては非合理で非科学的だと感じるため、それを言われたフランス人はびっくりした顔をしたということを読み取りましょう。したがって、1が正解です。
- (ウ) ――線2の前段落から、人間が日々の生活を営み、社会をつくり、その地域に特有なものの考え方を自然が作る風土とともににつくる関係が「自然と人間の関係」であるということを読み取りましょう。したがって、4が正解となります。
- (エ) ――線3の直後で、原因を説明しています。原因のひとつめは、第8段落にあり、近代社会は、自然を克服し、人間が自然を支配しようとする社会であったと書かれています。だから、歴史をつくりだしてきた、自然と人間との関係も無視されていくようになったということです。またふたつめの原因是、第9段落で、近代以降は経済システムや国家のあり方が地域から国家へ、国家から世界へと、向かっていった時代であり、その時代の流れが歴史を書かせた、と書かれています。つまり、原因はふたつあり、ひとつめの原因是近代社会の人と自然との関わり方が変化したことで、もうひとつの原因是近代の時代の流れの中で求められる歴史が時代の流れに対応するものである必要があったということです。したがって、2が正解です。
- (オ) ――線4の「否定的なニュアンス」とは、「封建的、古いもの、個人の自由が圧殺された社会、近代化されていない社会」というような評価で、近年まで伝統的な「村」の積極的な意義があることを提起したときに当時の研究者たちが驚くほど浸透していたということを読み取りましょう。したがって、3が正解となります。
- (カ) [I]は直後の「浸透し」に着目しましょう。――線5の3行後に、「個人主義が浸透」とあるのがわかります。つまり、近代化の過程で、共同体には個人主義が浸透してしまい、共同体の性質が変わったことが読み取れます。次に[II]はわたしたちの批判が何に対しておこなわれていたかを確認しましょう。――線5の含まれる段落の次の段落に、「共同体批判としておこなわれてきた内容の多くは……共同体がこわれているがゆえに生じた問題点に対しておこなわれていた」とあるのが見つかります。問題文中の「共同体がこわれているために現れた」という記述と「共同体がこわれているがゆえに生じた」とが同じ意味であることをおさえて、「問題点」を書き抜きます。

- (ア) 日本の自然は大きな地域差があり、自然がつくる風土とともに生まれる共同体も大きな差異があるため、「日本には、同じ構造をもつ共同体が各地にあったのではなく、さまざまな共同体が各地に展開していた」ということを読み取りましょう。したがって、2が正解となります。
- (イ) 本文の内容との正誤を問う問題です。小説文の場合と同じく、選択肢と本文とがどのように対応しているかをつかみ、必ず本文に戻って照らし合わせながら正誤を判断していきましょう。1は「現在の日本の共同体に生じる長所と短所を示しながら」、2は「共同体の差異を拡大させた資本主義を批判」、3は「日本とフランスの共同体の特徴を対比」がそれぞれ誤っています。したがって、4が正解となります。

#### 問四 資料を含む文の読解と記述

- (ア) 「Bさん」が提示したグラフ1は「小中学生が一か月に何冊の本を読んだかを学年別にまとめたもの」と言っていて、□にはグラフ1を読み取った内容が入ります。グラフ1を読み取っていくと、小学生が一か月に読む本が5冊以上と答えた割合は、4年生は58.6%で5年生は54.5%であることが読み取れます。また、中学生は、1年生が43.8%、2年生が37.4%と答えています。したがって2が正解となります。
- (イ) 中学生と小学生の答えている割合に注目してグラフ2を見ましょう。11ページでCさんが「差が最も大きいものは、小学生から中学生にかけて本を読まなくなる理由と考えて良いと思います。」と発言していることにも着目すると、最も小学生と中学生で回答に差がある項目は「他の活動等で時間がなかったから」になります。12ページでAさんが発言しているように「中学生になると自分の置かれた環境が大きく変化することにより、読む本の冊数が減っていると考えられます。」に着目してもよいでしょうし、続くCさんの「学校生活以外の時間の使い方の違いが、中学生が本をあまり読まない理由につながっていることが分かります。」に着目してもよいでしょう。つまり、小学校から中学校に上がると、部活や勉強などで忙しくなり、「本を読む時間」が取れないことが考えられます。したがって、これらの内容をふまえ、グラフ2の内容を指定語句を使って、指定字数の範囲でまとめます。

<正答例>

- ・(中学生が小学生に比べてあまり本を読まない一番の理由は、)他の活動等に時間をとられ、本を読む時間がとれない(からだと思います。)(24字)
- ・(中学生が小学生に比べてあまり本を読まない一番の理由は、)本を読む時間が、他の活動等にとられてしまう(からだと思います。)(21字)

\*誤字、脱字などがある場合は、その数にかかわらず2点減点となります。また表現に問題があって内容が解答の趣旨から少し外れているが、許容できると考えられる場合も2点減点となります。